

1. 「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

社会が求めるニーズを敏感に読み取り、即応するカリキュラム編成とした実践教育を行うことを旨とする。
業界の今を的確に捉え、求められる知識、技術の育成に力を置き、学ぶことで社会と直結した教育機関のあるべき姿を具体化する。教育効果を客観的視点で評価し、改善の方法を探る為の評議の場を設ける。本方針を共有できる企業との連携を力強く

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記

教育課程編成委員会は、校長と学務会議の間の位置付けとする。教育課程編成委員会を通して、学科が所属する業界の情報共有を委員会でを行い、教育現場に反映させることが目的とする。挙げられた意見を学務会議にて議論、それを経て、校長を経由した上で責任者会議に持ち込まれ、決議される。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和5年7月31日現在

名前	所属	任期	種別
板倉 康裕	公益財団法人大阪産業局 大阪デザイン振興プラザ	令和5年4月1日～令和6年3月31日	①
石田 真悟	株式会社小学館第二コミック局ケツサン編集部	令和5年4月1日～令和8年3月31日	③
長尾 大樹	大阪デザイナー専門学校 校長		—
三上 裕之	大阪デザイナー専門学校 学務実務責任者		—
中村 誠	大阪デザイナー専門学校 教員		—

※委員の種別の欄には、企業等委員の場合には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。

(当該学校の教職員が学校側の委員として参画する場合、種別の欄は「—」を記載してください。)

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

年2回 (3月、12月)

(開催日時(実績))

第1回 令和5年3月18日 18:00～19:30

第2回 令和5年12月18日 18:00～19:30(予定)

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。

近年のマンガは編集部からの発信のみでなく、SNSにより個人でもマンガを発信が出来る時代となっているが、SNSに作品を載せただけでは直接金銭になるわけではないので、その実績をどのように編集部への売り込みにつなげられるかを確認。学生たちがSNSや既存の雑誌社、WEB系の編集部に応じた作品制作を行えるよう企業と学生との関係を高めた授業展開を行うことを確認した。

(別途、以下の資料を提出)

- * 教育課程編成委員会等の位置付けに係る諸規程
- * 教育課程編成委員会等の規則
- * 教育課程編成委員会等の企業等委員の選任理由(推薦学科の専攻分野との関係等)※別紙様式3-1
- * 学校又は法人の組織図
- * 教育課程編成委員会等の開催記録

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1) 実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

従来の編集部への売り込みを行う作品制作と共にSNSでの評価が得られる作品制作を行い、既成概念に囚われず次世代で活躍するマンガ家を育成する。

(2) 実習・演習等における企業等との連携内容

※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記

先方が運営するスマートコミック&ノベルサービス「comico」での連載を目指し、説明会実施/作品制作/講評会を実施頂く。

(3) 具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科目名	科目概要	連携企業等
デジタルマンガ	デジタルでのマンガ制作の基礎知識、制作方法を学び、デビューの為に作品制作から応募までを行い、スマートフォン、WEBなどのコンテンツでも活躍できる人材の育成	NHNcomico株式会社

(別途、以下の資料を提出)

* 企業等との連携に関する協定書等や講師契約書(本人の同意書及び企業等の承諾書)等

3.「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係	
(1)推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針 ※研修等を教員に受講させることについて諸規程に定められていることを明記 研修は、教職員に対して、現在就いている職又は将来就くことが予想される職に係る職務の遂行に必要な知識又は技能等を修得させ、その遂行に必要な教職員の能力及び資質等の向上を図ることを目的とする。	
(2)研修等の実績	
①専攻分野における実務に関する研修等	
研修名: WEBコミックについて。	連携企業等: 株式会社株式会社comico
期間: 令和4年5月9日(月)	対象: マンガ学科教員
内容: web、雑誌の今後のマンガ業界の現状を知り、作品指導に繋げる。	
研修名: マンガ作家デビューに向けて。	連携企業等: (株)白泉社 キャラクタープロデュース部
期間: 令和4年5月17日(火)	対象: マンガ学科教員
内容: 近年の読者を意識した作品制作について。	
研修名:	連携企業等:
期間:	対象:
内容:	
②指導力の修得・向上のための研修等	
研修名: 「作家活動・業務委託業セミナー」	連携企業等: 京阪総合会計事務所
期間: 令和5年5月23日(火)	対象: 全教員
内容: 起業や作家活動における「インボイス制度」「確定申告」について	
研修名:	連携企業等:
期間:	対象:
内容:	
研修名:	連携企業等:
期間:	対象:
内容:	

(3) 研修等の計画		
① 専攻分野における実務に関する研修等		
研修名: マンガ業界について	連携企業等: はたのさとし氏	
期間: 令和4年11月27日(月)	対象: マンガ学科教員	
内容: マンガの様々な仕事やプロセスを学び、業界の理解を深める。		
研修名:	連携企業等:	
期間:	対象:	
内容:		
研修名:	連携企業等:	
期間:	対象:	
内容:		
② 指導力の修得・向上のための研修等		
研修名: ハラスメント研修	連携企業等: 株式会社インソース	
期間: 令和5年8月(実施月に変動あり)	対象: 全教員	
内容: ハラスメントの理解を深め、個人と組織としてのハラスメント防止対策		
研修名: メンタルヘルス研修	連携企業等: 株式会社インソース	
期間: 令和5年10月(実施月に変動あり)	対象: 全教員	
内容: ストレスについて正しい知識、自身のストレス要因、ストレス軽減について学び、自己肯定感を高めることを学ぶ。		
研修名:	連携企業等:	
期間:	対象:	
内容:		
(別途、以下の資料を提出)		
* 研修等に係る諸規程		
* 研修等の実績(推薦年度の前年度における実績)		
* 研修等の計画(推薦年度における計画)		

4.「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1) 学校関係者評価の基本方針

学校自己評価や日常の学校教育に対するの評価・意見内容を教育活動面と学校運営面に分別し、学務・広報・事務の各部門で運営方針に照らし、協議・検討を行う。その結果、授業内容に取り入れたり、改善・修正を要する場合は、部門より責任者

会議の具体的な専断案件として上申し、最終的な判断をすることで、第三者評価の効率的な活用を図る

(2) 「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1) 教育理念・目標	学校の理念、学校の目的・特色の明確化と育成する人材像
(2) 学校運営	運営方針に即した事業計画の策定、運営組織の意思決定機能の円滑
(3) 教育活動	職業教育に適するカリキュラムの策定に際し、その学科の関係する業
(4) 学修成果	学生の学校継続率、就職率の向上
(5) 学生支援	在学生への経済面・健康面・生活面全般への支援体制、並びに卒業
(6) 教育環境	授業運営上の付属施設、設備、実習施設の環境及び防災体制の確認
(7) 学生の受入れ募集	学生募集の適正さと活動上における教育成果の正確な伝達の確認
(8) 財務	予算・収支計画の有効性と、財務面の適正
(9) 法令等の遵守	法令の遵守、個人情報の取扱い確認
(10) 社会貢献・地域貢献	校舎周辺の定期的な清掃活動
(11) 国際交流	-

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 学校関係者評価結果の活用状況

基準1～9の項目において学校関係者評価委員会から概ね了承を得ている中、業界で活躍できる人材の育成強化についての課題点を教育活動、教育成果、教育環境の視点から共有。その点を踏まえ、今後の強化点としてより企業と連携した課題を織り込んだカリキュラムの整備とそれに応じた学外授業の計画実施を図ることが重要であるとし、具体的には業界内企業とのネットワークをより強固なものとする求人活動の徹底と、インターンシップを通じた実践的な産学連携、企業招へいの上で職業訓練の一環として実践的なプレゼン形式のカリキュラムを構築する。ポートフォリオのレビューや学外へ向けた学修成果の発表の場を設け、修学評価に繋げる活動を行う。またコロナウィルスの影響も踏まえた健康面のケアと方針の構築、カウンセラーによる精神疾患学生へのケアの体制も構築する。

(4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿

令和5年7月31日現在

名前	所属	任期	種別
山本 眞弘	株式会社 夢現社	令和3年4月1日～令和6年3月31日	企業等委員
菊地 武司	有限会社 リワークス	令和3年4月1日～令和6年3月31日	企業等委員
高畑 彰	高畑デザイン事務所	令和5年4月1日～令和10年3月31日	企業等委員
西森 幸司	西森幸司建築設計事務所	令和3年4月1日～令和6年3月31日	卒業生
萩森 誠	株式会社マッグガーデン 関西事業部	令和3年4月1日～令和6年3月31日	企業等委員
青山 直	フリー	令和5年4月1日～令和8年3月31日	卒業生

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(5) 学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ・広報誌等の刊行物・その他())

URL: <https://www.odc.ac.jp>

公表時期: 令和5年8月初旬

(別途、以下の資料を提出)

- * 学校関係者評価委員会の企業等委員の選任理由書(推薦学科の専攻分野との関係等)※別紙様式3-2
- * 自己評価結果公開資料
- * 学校関係者評価結果公開資料(自己評価結果との対応関係が具体的に分かる評価報告書)

5. 「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1) 企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

学校全般の状況を広く学校関係者、その他に情報提供をする事により、生徒・保護者・業界関係者の学校に対する理解、信頼を深め、社会に対する説明責任を果たす。また、企業、関係団体等とは情報を基にした連携、協力する事によって、カリキュラム策定の寄与を為し、実践教育の質を高めることを基本方針とする。

(2) 「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1) 学校の概要、目標及び計画	建学の精神、所在地、校長名、沿革、歴史
(2) 各学科等の教育	設置学科の入学定員・収容定員・在学学生数、カリキュラム、進級・卒業
(3) 教職員	教職員数
(4) キャリア教育・実践的職業教育	キャリア教育への取り組み状況
(5) 様々な教育活動・教育環境	学校行事、課外活動
(6) 学生の生活支援	健康診断、カウンセリング体制
(7) 学生納付金・修学支援	学生納付金、経済的支援活動
(8) 学校の財務	資金収支計算書・消費収支計算書・貸借対照表
(9) 学校評価	自己評価表
(10) 国際連携の状況	-
(11) その他	-

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 情報提供方法

(ホームページ・広報誌等の刊行物・その他())

URL: <https://www.odc.ac.jp>

公表時期: 令和5年8月初旬

(別途、以下の資料を提出)

* 情報提供している資料

事務担当責任者	フリガナ	ミカミ ヒロユキ	所属部署	学務部
	氏名	三上 裕之	役職名	学務実務責任者
	所在地	〒 530-0003 大阪府大阪市北区堂島2-3-20		
	TEL	06-6345-4676	FAX	06-6345-1259
	E-mail	hiroyuki.mikami@oag.ac.jp		

(備考)

・用紙の大きさは、日本産業規格A4とする(別紙様式1-2、2-1、2-2、3-1、3-2、4、5、6、7、8についても同じ。)

授業科目等の概要

(デザイン専門課程マンガ学科) 令和5年度																
分類	必修	選択必修	自由選択	授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
									講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
1	○			シナリオ	ストーリーを創作していくために必要な起承転結など、物語の構成の仕方を学習する。	1前	34	2	○			○			○	
2	○			マンガ知識 1	マンガを描くためのネーム制作などの、作方法の基礎を学ぶ。	1前	34	2	○			○			○	
3	○			デザインメ ディア	デザインと人とモノと空間の関係や、デザイナーの心構えの基礎を学ぶ。	1前	34	2	○			○			○	
4	○			シヨフアク ス	デビューや就職を実現するため、業界 究、プロセスを知り、活動の準備を行う。	1後	34	2	○			○		○		
5	○			マンガ知識 2	マンガをより魅力的に見せる方法、キャラ クター、コマ割りテクニックの重要性を学 び作品制作に活かす。	1後	68	4			○	○			○	
6	○			マンガ基礎	付けペンやトーン等の道具の技術やマンガ 原稿用紙の使い方を習得する。	1後	68	4			○	○			○	
7	○			マンガ制作	マンガをコンスタントに制作し、制作手順 からストーリー構成、仕上げ、完成まで の行程を学ぶ。	1後	68	4			○	○		○		
8	○			マンガテク ニック	景ハウスや仕上げのテクニックを磨いた のスキルアップ授業。	1通	136	4			○	○			○	
9	○			キャラクター デザイン	人体のつくり、骨格などキャラクターを描 く上で必要なデッサン技法を身につける。	1通	136	4			○	○		○		
10	○			イラスト	基本的描写力(各種画材の表現と形や質感表 現)を演習を通じて習得する。	1通	136	4			○	○			○	
11	○			デッサン	描いて表現するための基本である観察と描 写の技法を習得する。	1通	136	4			○	○			○	
12	○			デシタルワ ク	Macintoshを使っのパソコン操作の基礎実 習「illustrator」「photoshop」の基礎を 習得する。	1通	136	4			○	○			○	○

